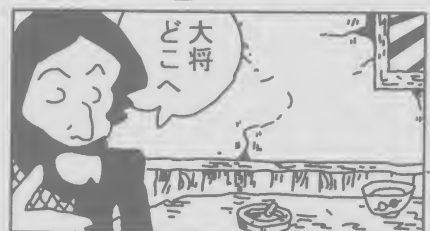
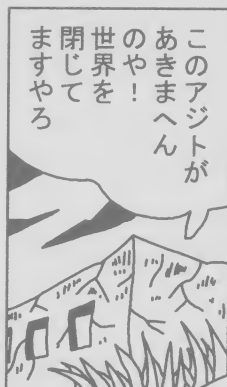


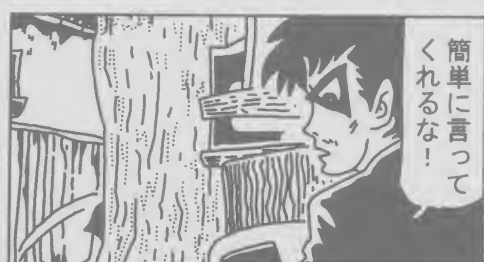
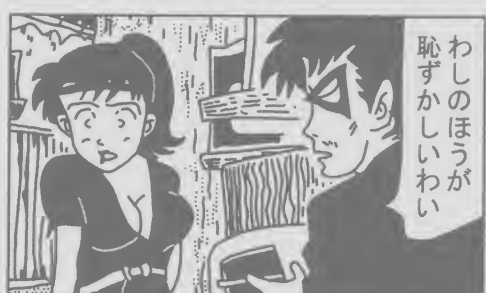
98' 超越論的獵奇王

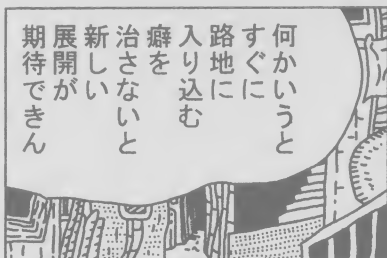
獵奇のアジト

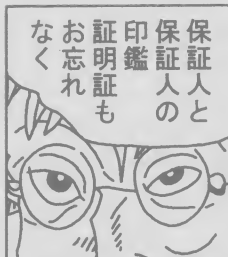
川崎ゆきお



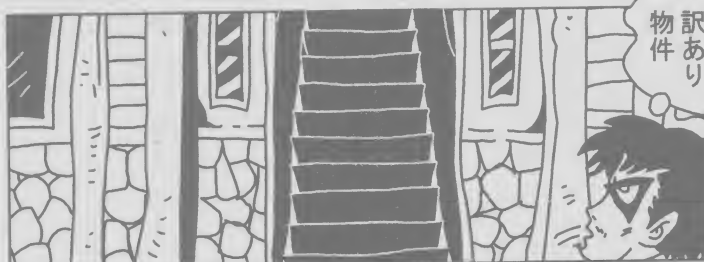














今、思い出した
猟奇小説執筆に
飽きたらず
猟奇犯罪に走った
猟奇の徒
根地田春泥



わしを見忘れたか
熱海の根地田春泥だ



どんな
血じゃ
それは

しかし
猟奇王の
顔を見た
瞬間
猟奇の血が



今は
親父の
不動産屋を
ついで
社会人を
やっておる



あつ！長い間
樋でないから
錆びて
おったか



む？



くらえー
こんな
血じゃ



オートロック
シャワー付きの
マンションへ
行くのよ



どうしてだ
ここなら
オーナーは
わしなので
貸してやるぞ

根地田！
わしは
この
部屋は
借りぬぞ



くー
何処へ
行こうと
しておる
猟奇王！

貴様ら中古の
猟奇者相手では
新たな展開が
望めんからよ